

欧州中世法コレクション (貴重書)

ドイツの Aubermann und Keip GmbH 社が保持していたもので、きわめて稀な包括的なコレクションである。中世から近世にかけて、大学で研究・教育され、現実の紛争解決のために適用されたローマ法・教会法の法源、その理解の基準となった標準注釈および逐条解説書 (Commentaria) ならびに事件の適用例・判決理由の報告書 (Consilia) からなるコレクションである。13 世紀以降に書かれ、主として 16 世紀に印刷出版された一級の学者実務家の文献、とりわけ 14 世紀から 15 世紀の注解学派の全集(バルトルス、バルドゥス、カストレンシスなど) がコレクションの中心をなす。「ローマ法大全」の Fradin 版等を含む 90 点、77 冊を所蔵。